

日本の安全保障上重要な土地を狙う中国

一面新聞

令和2年
12月4日(金)

発行者
DAPPI



第158号



Dappi
@dappi2019

小野寺まさる「小樽で米海軍船・自衛隊艦艇が入港する港が一望できる場所や天皇陛下が泊った所が中国資本に根こそぎ買われてる」
伊藤俊幸「目視し定点観測すれば行動がわかるのでデータベースになる。米国でも同様のケースがあった時は撤去させてる」
小野寺まさる「旭川市神居町の自衛隊の電波塔の近くの土地を元中国解放軍軍人の会社が購入」
伊藤俊幸「大問題。中国側が破壊活動出来る状態。自衛隊が問題視しても他省庁や見ざる聞かざるする。安全保障は票にならないから政治家も動かない。こういう話を聞いても動かないのが日本の恐ろしいところ」



Dappi
@dappi2019

産経の取材に北海道地盤の議員が「(自衛隊基地近くに)中国資本が僅かな土地を買ったくらいで問題なのか。日本人もバブル時はNYに土地を買った」と回答。

政府が外国人資本による安全保障上重要な土地の買収問題の対策を進める中で、こういう発言をする議員がいるのが腹立たしい。危機感がなさすぎる

基地まで1キロ「何か意図が」



旭川市神居町に建設中の小型風力発電所。中国資本が関与すると思われる企業が土地を買収し、建設した小型風力発電所。中国資本が関与すると思われる企業が土地を買収し、建設した小型風力発電所。中国資本が関与すると思われる企業が土地を買収し、建設した小型風力発電所。

市長に面会要求、社員が選挙出馬

自衛隊基地周辺・自衛隊の電波塔周辺・米海軍や自衛隊艦艇が入り出する港が一望できる場所など日本の安全保障上重要な土地を買い漁る元中国人民解放軍の軍人や中国資本…この問題に対して地元国会議員は「自衛隊基地近くに中国資本が土地を買ったくらいで問題なのか」と危機感なしの発言。政府は安全保障上重要な土地を守るために中韓のように外国人土地取引規制を一刻も早く施行すべき

報道回想録

国会に憲法改正論議を求めるオンライン国民集会 “国の使命”を国会議員は考え直すべき



12月2日に開催された“国会に憲法改正論議を求めるオンライン国民集会”でジャーナリストの櫻井よしこ氏が「国会議員は自分の役割を何と考えている？立憲民主党は憲法議論を拒否してるが、国民に国の在り方を問う為の準備をなぜしない？議論してないのに『時期尚早！議論が熟してない！』という資格はあるのか！日本の一番の脅威は中国で隙あらば日本を狙っている。その中国の脅威の前に今の自衛隊・海上保安庁で守れるのか？国会で立憲共産党は桜・モリカケをやってるが、国民・国土を守ることが国家の最大限の責任。国の使命とは何か国会議員は考え直すべき。胸を張って仕事をしてきたと言えるのか！」と憲法議論から逃げ続けてる立憲民主党と共産党に苦言を呈しつつ、憲法改正の重要性を訴えた。

また門田隆将氏も「中国の力による現状変更を防ぐには一国では無理なので米豪印を含む環太平洋条約機構を構築し一斉に反撃する体制を作れば抑止力になる。国民の命・子や孫の命を守るために【集団的自衛権を獲得し、環太平洋条約機構構築し抑止力で平和を守るべき】と主張する政治家が日本にいないのが不思議。中国は2049年迄に“100年の恥辱を晴らし偉大な中華民族の復興を果たす”と公言。つまり中国の主目的は日本民族にあると忘れてはいけない。日本は周辺国と連携し抑止力を高め、中国の力による現状変更をさせないための議論をすべき」と中国の脅威に立ち向かう為にも憲法改正議論をせよと訴えた。

尚、国会に憲法改正論議を求めるオンライン国民集会には自民党・公明党・日本維新の会・国民民主党が参加するも、立憲民主党は要請されるも参加を拒否するなど、立憲民主党は議論する姿勢すらないことが改めて露わになった。

注目のインターネット情報

中国外相に反論し日本の名誉を守るべき

Dappi
@dappi2019

山田宏「国民は王毅外相の『尖閣は中国の主権。偽装漁船の侵入をやめさせろ』との発言に憤慨してる。偽装漁船は中国であり、茂木大臣はなぜ強く反論しなかった！立場や記者会見のルールで困難だったかもしれないが中国側の見下す発言には反論し日本の名誉を守るべき！」

山田さんよくぞ言った

#kokkai



2020年11月27日 (参議院 本会議)